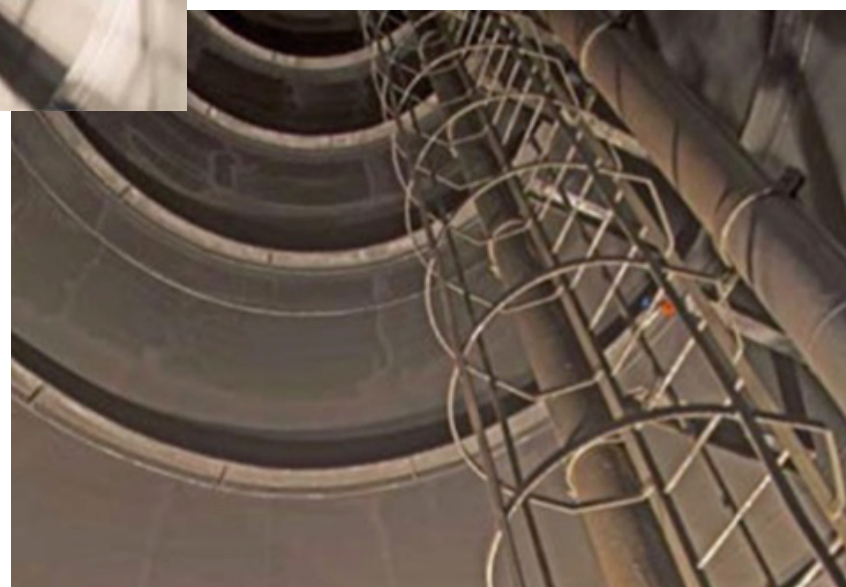
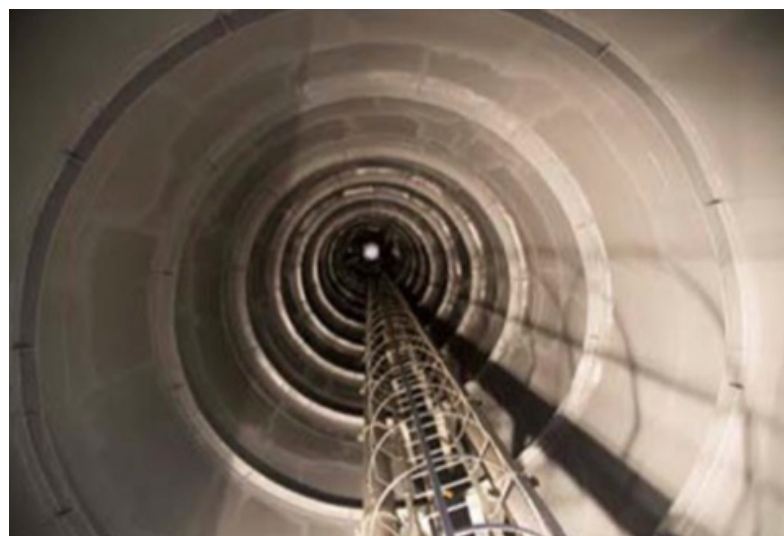


》 給水塔 – タンク内部改修



概要

高架式スチールタンク、通称「スウプカ給水塔」は、スウプカ市（ポーランド）の安定した水圧を確保するために1990年代に建設されました。この施設は、1960年代から様々な歴史的変遷を経て、現在は市の上下水道会社が運用しています。給水塔の容量は700立方メートルで、市の北部に位置しています。1993年以降、高架タンクの建設が完了したことで、需要のピーク時の水不足の問題は解消されました。

スウプカの多くの住民にとって、給水塔はランドマークでもあり、その高さは約38メートルで、市内のほぼどこからでも見ることができます。2016年、市営上下水道会社は高架タンクの内面を改修することを決定しました。これは、住民のための飲料水に関わる重要なプロジェクトで、将来の請負業者のためのタスクを詳細に指定する入札仕様が決められました。また、改修工事に対して少なくとも6年間の保証が要求されました。

ソリューション

下地処理後、タンクの下塗用にマスターシール P 684 プライマーを使用しました。マスターシール M 689 ポリウレア膜は防水と保護コーティングに使用され、耐薬品性に優れているだけでなく、伸縮性にも優れているため、設備全体の鉄骨構造物を保護することができます。また、この材料はスプレーで塗布することが可能で、均一で緻密なコーティングを実現でき、追加的作業も必要ありませんでした。

はしごやその他の小さな部材を絶縁するために、ポリウレタン膜マスターシール M 808 を手塗りで使用しました。ポリウレア膜を塗布し、足場を解体した後、タンクを洗浄・消毒し、飲料水の細菌テストを行いました。結果は問題ありませんでした。

システム概要

マスターシール P684 プライマー、マスターシール M689 ポリウレア層、マスターシール M808 ポリウレタン層

お客様へのメリット

マスターシール M 689 ポリウレア技術を選択したことで、タンク内面の保護、特に給水塔の高さとそれに伴う構造物の働きを考慮した課題が解決されました。マスターシール M 689 は優れた耐薬品性と高い弾性を有しているため、最高の静的ひび割れ追従性 (EN 1062-7 (A) のクラス A5、クラック幅 2.5 mm) と最高の動的ひび割れ追従性 (EN 1062-7 (B) のクラス B4.2、クラック幅 0.2~0.5 mm、20,000 サイクル、周波数 1 Hz) の両方を備えています。完成した工事に6年間の保証を提供し、この施設の特長性を考慮すると、仕様要件を満たすことができる唯一の信頼性の高い技術でした。

場所: ポーランド スウプカ

製品: マスターシール P684, M689, M808